

そんな現場の声から生時体重ゲノミック育種価を公表しました!

生時体重には様々な要因が関わっています

例: 子牛の性別、在胎期間、飼養管理など

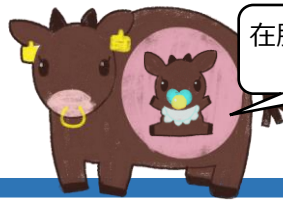
種雄牛によって在胎期間に差があるため
在胎期間を含むゲノミック育種価を表示

在胎日数1日あたり
+0.36kg

平均在胎期間: **288日**

AI ←

→ 分娩



生時体重のゲノミック育種価の見方

- ・種雄牛案内や種雄牛一覧Plus+で確認できます
 - ・育種価が大きいほど生時体重が大きくなります
- ※詳細な解説は2022種雄牛案内3ページをご覧ください

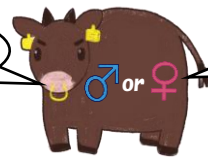
生時体重のゲノミック育種価の活用方法

- ・初めて利用する種雄牛でもおおよそその子出しを予測することが可能!
- ・利用したことのある当団種雄牛と比較することでイメージをつかむことが可能!

さらに
性選別精液 **Sort^{pro}** を活用しましょう!

雄でもそこまで大きくないから雄精液を使おう!

安全に産ませたいから雌精液を使おう!



生時体重と枝肉重量のゲノミック育種価

